

サラリーマン横井の活動をお伝えします

YOKOI Report



4年目活動中です!!

奈良市議会議員の横井雄一でございます。

「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。

みなさんの声を、議会で質問しました



① 管理職は、部下の仕事をきちんと管理して!【本会議】



横井の質問

公金着服や背任横領事件が起きているが、管理職の立場にある者が部下の仕事をきちんと管理できれば、事件は起こらない。管理職の能力を向上させる手立ては。

仲川市長の答え

22年度から導入した「管理職登用試験」を活用すること、今年度から試行する「人事評価制度」を活用して、より質の高い管理職員を育成する。



横井の訴え

管理職になってから慢心を生まないように厳しい評価も必要。現在構築中の人事評価制度に「管理職手当を変動できる評価制度」を取り入れてほしい、と訴えました。

② 議員と職員の癒着はやめて!【本会議】



横井の質問

この一年間に不祥事で逮捕された市職員は4人。その4人の中に、22年度に発覚した議員による口利き人事異動に関する職員がいるのでは。

仲川市長の答え

情報公開審査会の答申により、個人情報なので答えることができない。



横井の訴え

今後は、職員と議員の癒着はやめてほしい、と訴えました。

③ 奈良の文化を発信しよう!【建設委員会】



横井の質問

伊勢の「おかげ横町」のような、木に墨書きの看板が並ぶ商店街を作る。「書」のまちをアピールするサインで、奈良の文化を発信することができるのでは。

景観課長の答え

古都・奈良をアピールする施策と考える。他都市の事例やモデル地区の調査等を観光経済部と協働する。

4 手話通訳者が居る避難所を作って!【市民環境委員会】



横井の質問

災害時の指定避難所。ろう者の情報不足を解消するため、あらかじめ、手話通訳者を配置する避難所を決めておいてはどうか。

危機管理課長の答え

奈良市内に2、3カ所の設置を前提に、直ちに具体的な検討を行う。

5 災害時、観光客を受け入れよう!【市民環境委員会】



横井の質問

数十万人の観光客が一時に訪れる奈良。大震災時にはほとんどの観光客が帰宅困難者になると予想される。奈良の寺社で受け入れていただく方法を考えてはどうか。

危機管理課長の答え

寺社のご協力を得ることが不可欠。他都市の状況等を研究し、具体的な取組み姿勢を示す。

取組みの成果が出てきました!

その1

9月議会で、特殊勤務手当を削減する案を可決しました!!

23年12月議会で、市民感覚とかけ離れた手当を見直すよう問題提起しました。その後、今年の3月議会では否決されたのですが、この9月議会で賛成多数で可決されました。一年前は議論すらなかった問題でしたが、今回、行政改革の第一歩を踏み出せたのではと思います。

その2

ツイッターによる市の情報発信が拡大しています!

23年3月議会で、住民への情報発信の手段として、“ツイッター”を活用することを提起しました。当時は一つだけでしたが、今では、災害や警報、ごみ情報、イベント情報などを発信する奈良市公式アカウントが9つに増えています。(10月現在)



よこいん

議会での役割が新しくなりました!

6月より、『市民環境委員会』委員に就任しました。

市民環境委員会は、窓口サービス、市立病院、防災、防犯、交通安全、ボランティア活動、ごみ収集など、市民生活全般にわたる分野を担当いたします。

7月より、『議会制度検討特別委員会』委員に就任しました。

議会改革を推進する特別委員会です。『議会基本条例』案を作るとともに、『政治倫理条例』の改正案を作ります。

7月より、『議会運営委員会』委員に就任しました。

ムダなく、より実効性のある協議・審議を行うため、議会運営に関して意思決定する委員会です。

ウェルカムヘルパー活動が始まりました

今年のゴールデンウィーク。平城宮跡で行われた「平城京天平祭☆春」でウェルカムヘルパーがデビューしました。5月3日から6日までの4日間、介助が必要な方の要望に応え活動しました。車イスをレンタルするお客様の対応や、気温が高かったためお疲れになった方に本部テントで休憩をしていただく対応をしておりました。

連日、20組程度の障がい者や車いすの高齢者が会場にお越しになりました。みなさんは、ご家族の方に付き添われ、自前の車イスで移動されており、万全の態勢で奈良へお越しになっておられるようでした。それを見て感じましたのは、「多くの方が身体が不自由であっても旅行したい」「でも、旅行先には気の利いたサービスがない」と思っておられるのではないかと、ということです。

それだけに、態勢の充実やサービスの存在をアピールするといった課題はありますが、このウェルカムヘルパー運動の必要性を感じました。今後も地道に活動していきたいと思えます。

〈平城宮跡会場〉



特集! 9月議会で、ウェルカムヘルパー政策を提起しました!

介護・介助が必要な観光客を受け入れる態勢づくりを!

横井の考え方を発表!

「今世紀の新しい観光戦略はこれだ!」

高齢社会が進むこれからの時代、家族に一人は介護・介助が必要な人がいる状況になる。介護・介助が必要な人とそのご家族が安心して奈良にお越しただけの態勢をつくるのが、奈良が観光都市として、他都市に打ち勝つひとつの方法であると考えます。そんなご家族が奈良へたくさんお越しになれば、経済効果は確実にあり、現在の健常者中心の観光施策を打破できる。

この観光客を増やす新しい仕掛けについて、市長の見解は。

次に、人材の育成・確保の必要性を提起!

民間有志の活動がすでにある。平城京天平祭☆春のイベント期間中、「ウェルカムヘルパー」が会場本部に待機。お手伝いが必要になれば行動できる態勢で常駐していた。人材(スタッフ)の必要性について、市長の見解は。



そして、仲川市長の答えは、

- ① 高齢化が進む社会では、ウェルカムヘルパーのような、高齢者が滞在しやすい「強み」を確立すれば、名実ともに世界に誇れる観光都市になれる。
- ② そのような人材を育てることが必要である。
- ③ まずは、奈良市内の介護介助ボランティアの状況、観光施設の人的サービスの提供状況、他都市のの取り組み事例を調査する。

★要望として、『人づくりについて行政の支援を望みたい』と訴えました!

よこいくんの取り組み

サービス介助士の資格を取りました。

この夏、大阪市内でサービス介助士2級の実技講習を受けました。最も困難だったのは、「高齢者の疑似体験」でした。写真のような格好で街へ繰り出し、地下鉄の駅に行ったりコンビニで買い物をしたり、食事をとったり…。手足にはおもり、ひじ膝には関節を固定するサポーター、目には白内障の症状を体験するマスク。手の指は二本ずつテープで縛られるなど自由が利かない状態での体験でした。そのほか、車イスの移動介助、服の着脱、目の不自由な方の手引きといった介助技術と、介助士としての心構えを学習し、その後の検定試験を合格することができました。



〈高齢者疑似体験〉

開かれた議会へ。駅前アンケート！

5月から6月、駅前やイベント会場、市内の保育園等を訪ね、議会への改革要望をお聞きするアンケート活動を行いました。議員全員が参加できなかったのが残念でしたが、超党派で活動したことは大きい意味があると思っています。私は、「奈良市民のみなさんと対話する議会」、「奈良市民のみなさんも参加する議会」、「奈良市民のみなさんに開かれた議会」になるために議会が変わることを訴え、協力を呼びかけました。



〈近鉄奈良駅前〉

★開かれた議会を目指す「議会基本条例」は、来年3月議会での成立を目指しています。

手話サークルに入りました

手話サークル「鹿の会」に入会しました。手話そのものが上達することはもちろん嬉しく思います。でもそれよりも、ろう者と交流する中で、ろう者が感じている「健聴者との意思疎通の難しさ」や「日常生活の不自由さ」が、少しずつわかるようになってきたことが嬉しいです。



〈鹿の会会員証〉

災害支援活動を続けます

7月14日、奈良手話通訳問題研究会のみなさんと、『兵庫県立聴覚障害者情報センター』を訪問し、嘉田眞典所長から施設の役割などについてお話を伺いました。ろう者であり、阪神淡路大震災の被災者である嘉田さんからは、震災時、ろう者は情報から孤立してしまうといった健聴者に考えられない状況になったことをお聞かせいただきました。

東日本大震災においても同じような状況が発生したと聞いており、災害時のろう者への情報伝達の手段を確保することが重要だと思いました。

東日本大震災被災地の支援活動とともに、取り組んでいきたいと思ひます。

みなさんのところへ、出かけて行きます！

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。

よこいくん



横井雄一の電話番号 **まずは、お電話ください!**

いごくわ よこいくん

090-1598-4519 まで